

1 ガイドラインの基本方針

・安全最優先

生徒の生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最小限とする。生徒たちが安全に部活動ができる環境を提供する。

・「新しい日常・生活様式」への適応

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大以前の「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、今置かれた状況の正確な分析・理解に基づく 部活動運営をする。

《活動再開の基準（目安）》

・茨城県が発表するコロナ対策指針『茨城版コロナNext』の4つのStage区分をベースに、本校の活動再開時期及びその活動内容の目安とする「活動レベル」を設定する。

活動レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
茨城県 対策Stage	Stage 4	Stage 3	Stage 2	Stage 1
部活動	完全自粛	完全自粛	段階的再開可	原則再開
対外試合・大会参加 等	完全自粛	完全自粛	段階的再開可	原則再開

※部活動における段階的再開とは、ソーシャルディスタンス(社会的距離)を常に意識し、個人のフィジカルトレーニングや、ボールフィーリング等、生徒同士の接触を極力減らす内容で主に活動するという事。

※熱中症対策については、別に定める。「中・高等部部活動(総合運動部・体育的運動部活動)における熱中症対策」

2 部活動参加者が競技・トレーニングする際の留意点

- トレーニングする場合、長期の臨時休業に伴い、生徒が運動不足となっていることも考えられるため、身体に過度な負担のかかる運動を避けるとともに、熱中症対策を講じ、生徒の健康管理及びけが防止に十分留意する。
- 感染予防の観点から、競技・トレーニングをしていない時間(ミーティングや休憩中)は周囲の人と一定の距離(ソーシャルディスタンス。2mが目安)を空け、十分な距離を確保する。
- 競技・トレーニング中に、唾や痰を地面にはくことは行わない。
- タオルの共用はしない。
- 飲料水はペットボトルや水筒などで、各自が用意し、学校側でジャグなどの用意はしない。
- 飲水については、指定場所以外で行わず、周囲の人と一定の距離をとって(2mが目安)、対面を避け、会話は控えめにすること。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク、麦茶等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てない。
- 競技・トレーニングをする際には、マスクを外す。
- 部活動で使用する用具等については、使用前・使用後に消毒を行うとともに、不必要に使い回しをしない。
- 更衣が必要な場合には、3密を避けた環境となるように時間や場所を工夫する。
- 広いスペースであっても、窓やドアの開放により換気をしながらトレーニングを行う。なお、2方向の窓やドアを開ける。

3 体育館等(室内)における感染防止対策

- 感染リスクを低くするため、以下の対応をする。
 - ・体育館等に入る時に、アルコール消毒液で必ず手を消毒する。練習終了後、体育館等を退出する際も必ず行う。
 - ・トイレには、ポンプ式の液体せっけんを用意する。
 - ・手洗い後に手を拭くためのハンカチ、タオルの共用をしない。
 - ・各教室に戻り、帰宅する前にも教室の水場で必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。

4 部活動に参加できない場合（指導者についても同様とする。）

○体調が良くない（例：発熱・咳・咽頭痛などの風邪の症状がある場合）

○同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。

○過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

<参考資料>

・学校再開ガイドライン（基本型）県立特別支援学校版（令和2年6月29日）

・茨城県サッカー協会 県内サッカー活動再開に向けたガイドライン（令和2年6月3日）

・学校再開ガイドライン〔県立友部特別支援学校版〕

・新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育活動の実施等に関するQ&A（令和2年7月10日）